

# 阿部知事 2期目に望む

## 報告書

(2014年8月22日～24日調査)

I	調査の設計	1
II	調査のポイント	3
III	調査の概要	4



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# I 調査の設計

## ◆調査の目的

任期満了に伴う長野県知事選挙は8月10日に投開票、現職の阿部守一知事が2人の候補を大差で破り再選された。阿部知事の得票は626,462票で、2010年前回の362,903票から26万票以上増やした。前は次点候補と5,021票の大接戦だったが今回は52万票余の差で圧勝、県民は1期目を信任した形だ。

しかし投票率は過去最低の43.56%で、長野県全有権者数に占める阿部知事の得票率は36%にとどまる。

地方の人口減少、厳しい将来が指摘される中で阿部知事は2期目のかじ取りをどうするのか。棄権に回った6割近い県民の意向をどう取り込むのか。

9月1日の阿部県政2期目スタートを前に、県民の期待や意向を探った。

## ◆調査の設計

▽調査対象	県内に住む20歳以上の男女800人
▽抽出方法	県内を東北中南の4地区に分け、さらに20代～70歳以上の6つの年代層・性に分割し“県下の有権者の縮図”となるように人数を比例配分して、各市・各郡の対象者数を設定。
▽調査方法	個別電話聞き取り・RDD（ランダム・デジット・ダイヤリング）法で実施。コンピューターで無作為に発生させてかける電話調査法で、電話帳に番号を載せていない人も調査できる。無作為に発生させた番号のうち、設定した年代・性の人を選び、目標の800人に達するまで抽出して聞き取りを行った。
▽調査地点	19市9町6村
▽調査時期	2014年8月22日～24日
▽有効回答	810人（男性 366人 女性 444人）

<注>

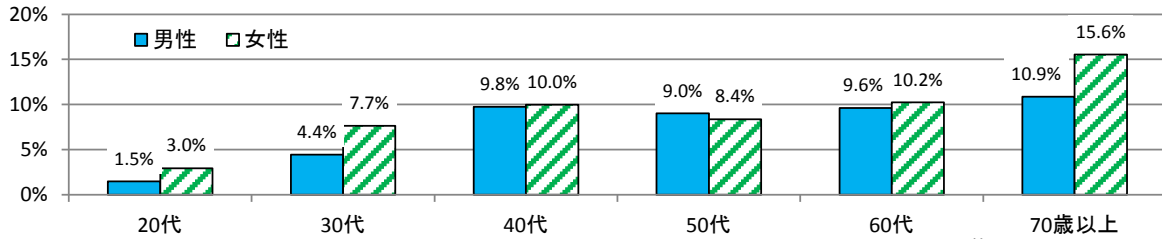
①報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

②文中のパーセント数字は原則として小数点以下を四捨五入したが、全体を計算するにあたって必要な場合は小数点第1位まで表記した。

## ◆サンプルの内訳

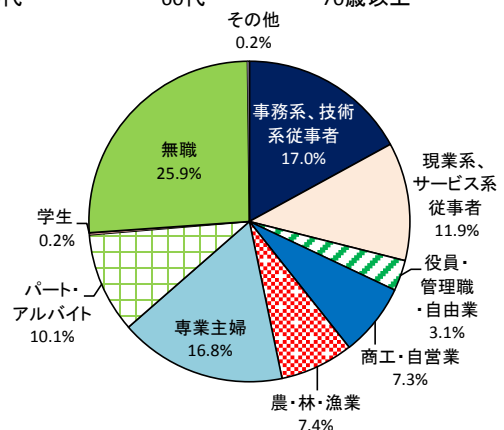
### 【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	810	36	98	160	141	161	214
	100.0%	4.4%	12.1%	19.8%	17.4%	19.9%	26.4%
男性	366	12	36	79	73	78	88
	45.2%	1.5%	4.4%	9.8%	9.0%	9.6%	10.9%
女性	444	24	62	81	68	83	126
	54.8%	3.0%	7.7%	10.0%	8.4%	10.2%	15.6%



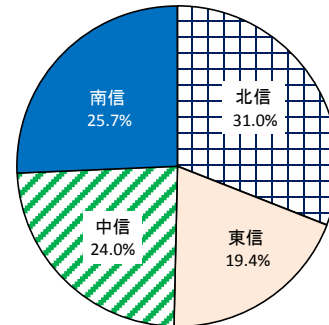
### 【職業】

事務系、技術系従事者	138	17.0%
現業系、サービス系従事者	96	11.9%
役員・管理職・自由業	25	3.1%
商工・自営業	59	7.3%
農・林・漁業	60	7.4%
専業主婦	136	16.8%
パート・アルバイト	82	10.1%
学生	2	0.2%
無職	210	25.9%
その他	2	0.2%



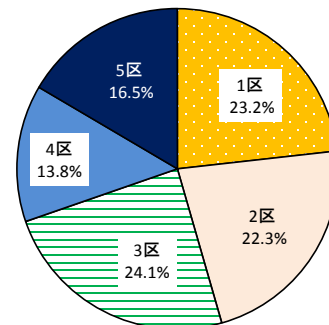
### 【地域】

北信	251	31.0%
東信	157	19.4%
中信	194	24.0%
南信	208	25.7%



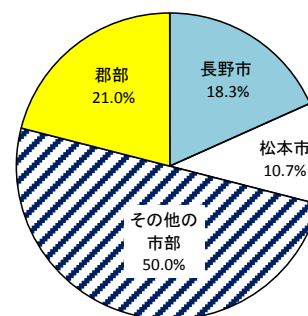
### 【選挙区】

1区	188	23.2%
2区	181	22.3%
3区	195	24.1%
4区	112	13.8%
5区	134	16.5%



### 【市郡】

長野市	148	18.3%
松本市	87	10.7%
その他の市部	405	50.0%
郡部	170	21.0%



## II 調査のポイント

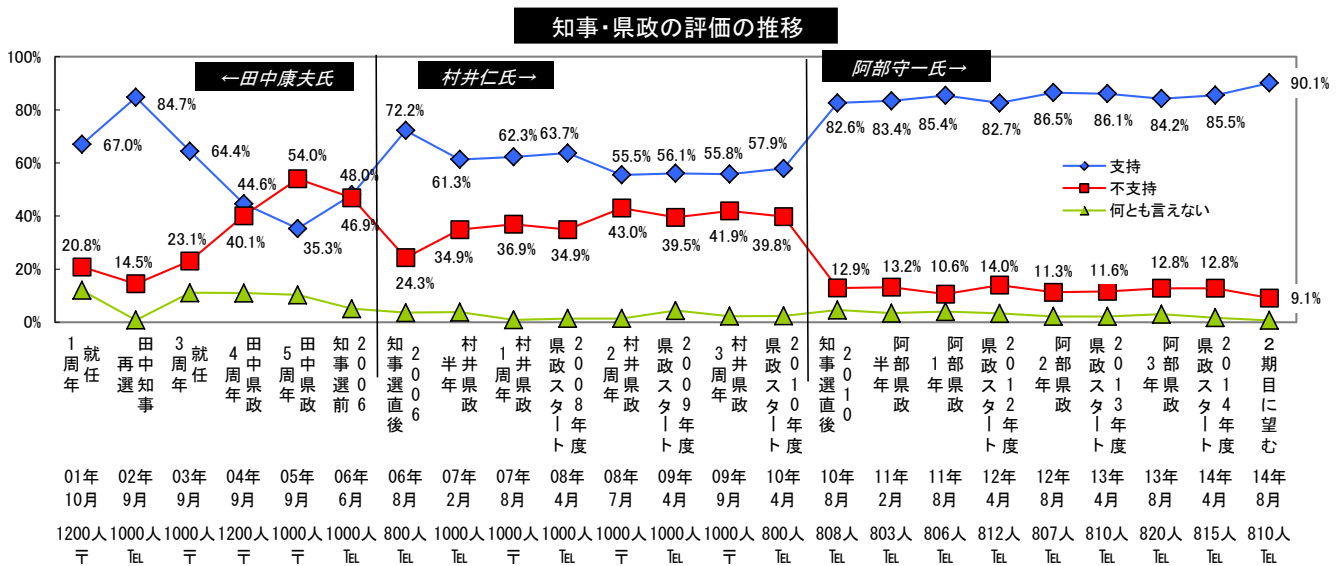
### ◆阿部知事の支持率 90.1%、新県立大「構想見直しを」44%

長野県政2期目に臨む阿部守一知事の支持率は「支持する」43.8%、「どちらかといえば支持する」46.3%を合わせ90.1%に上る。前回2010年、阿部氏が初当選を果たした知事選直後の調査以来、最高の数字で90%台も初めて。不支持は9.1%と一けた台にとどまる。

しかし知事の公約や県政の課題では、必ずしも賛意を得られていない。2018年度開学を目指す新県立大学は、今なお「学科など構想を見直した方がよい」が43.8%と「構想通りに推進する」の39.4%を上回る。これは各年代を通して共通認識で、特に中信は見直しを求める人が過半数の53.6%だ。

10月にも着工予定のリニア中央新幹線への知事の対応についても、「もっと環境保全を主張する」が39.5%で、「このままJR東海の環境保全対応を見守る」の44.2%と拮抗している。

また来春統一地方選で行われる県議選の選挙区・定数については、現行通り実施に「やむを得ない」が62.8%だが、その次の2019年の選挙では「見直すべきだ」が同率の62.8%。来年の県議選の争点の一つになりそうだ。



<注>田中県政当時は「なんともいえない」を郵送調査(〒)のみ選択肢として明示

	01年10月	02年9月	03年9月	04年9月	05年9月	06年6月	06年8月	07年2月	07年8月	08年4月	08年7月	09年4月	09年9月	10年4月	10年8月	11年2月	11年8月	12年4月	12年8月	13年4月	13年8月	14年4月	今回
支持する	36.6%	50.5%	29.7%	15.1%	11.6%	14.1%	35.9%	20.6%	19.6%	22.4%	17.8%	15.9%	16.0%	26.1%	40.5%	39.7%	35.5%	27.5%	32.2%	35.7%	41.0%	37.8%	43.8%
どちらかといえば支持する	30.4%	34.2%	34.7%	29.5%	23.7%	33.9%	36.3%	40.7%	42.7%	41.3%	37.7%	40.2%	39.8%	31.8%	42.1%	43.7%	49.9%	55.2%	54.3%	50.4%	43.2%	47.7%	46.3%
どちらかといえば支持しない	10.1%	8.0%	11.4%	17.5%	18.0%	25.9%	14.0%	24.6%	24.9%	24.6%	30.7%	28.7%	28.7%	21.3%	8.4%	9.3%	7.9%	10.6%	8.2%	9.1%	8.9%	9.0%	6.4%
支持しない	10.7%	6.5%	11.7%	22.6%	36.0%	21.0%	10.3%	10.3%	12.0%	10.3%	12.3%	10.8%	13.2%	18.5%	4.5%	3.9%	2.7%	3.4%	3.1%	2.5%	3.9%	3.8%	2.7%
なんともいえない/わからない	12.0%	0.8%	11.1%	11.0%	10.3%	5.1%	3.6%	3.8%	0.9%	1.4%	1.4%	4.4%	2.3%	2.4%	4.6%	3.4%	4.0%	3.3%	2.2%	2.3%	3.0%	1.7%	0.7%
不明	0.2%	-	1.3%	4.3%	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### Ⅲ 調査の概要

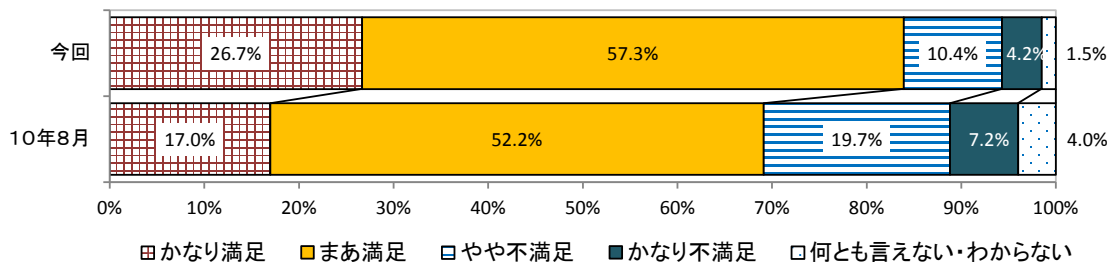
#### 知事選の評価

(問1)

##### ◆全体で84%が「満足」

今回の知事選の結果について「かなり満足」27%、「まあ満足」57%と、満足度は8割を超えた。3氏による激戦だった前回(69%)に比べ15ポイントアップ。各層を通してほぼ8割以上が満足、不満足が比較的多かったのは役員・管理職・自由業の28%。

対立候補を推薦した共産党支持者も満足が不満足より多い。



#### 力を入れてほしい政策

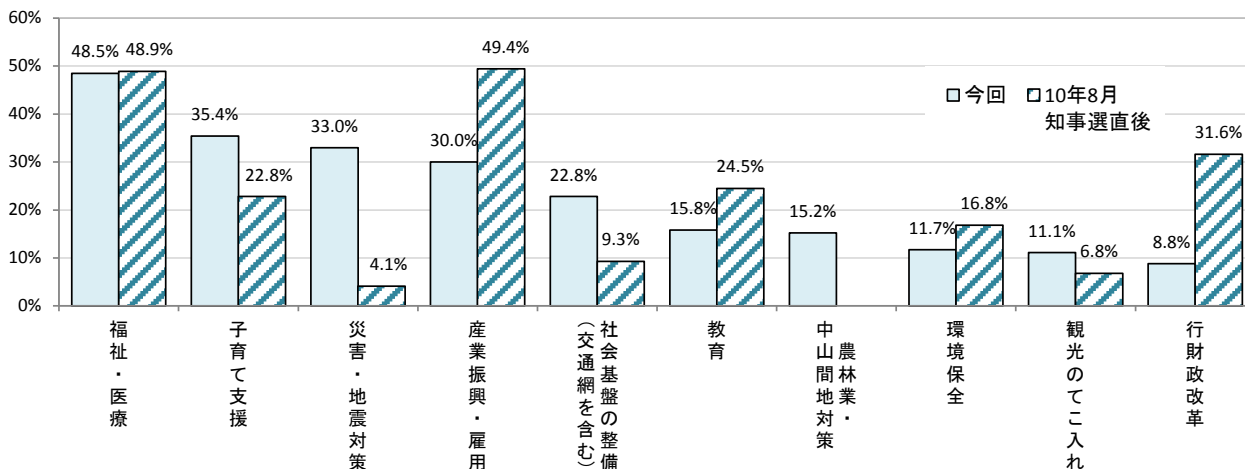
(問4)

##### ◆「福祉・医療」「子育て支援」「災害・地震対策」

2期目の阿部県政に力を入れてほしい政策を、3つ以内に絞って選んでもらった。

「福祉・医療」がトップの49%、「子育て支援」35%、「災害・地震対策」33%、「産業振興・雇用」が30%で続く。知事選告示前に争点として取り上げてほしい施策として聞いた際は、「子育て支援」と「福祉・医療」が並んでトップだったが、選挙後も大きな順位変動はない。

前回の知事選直後の調査では「産業振興と雇用」と「高齢者福祉や医療」がほぼ同率で1位、3位に「財政立て直し」だったので、この4年間で「子育て支援」が優先課題になった。特に30代は過半数の53%が「子育て支援」を挙げており、切実感がうかがわれる。3番目の「災害・地震対策」は南木曾町、広島市の土砂災害も影響しているようだ。



※4年前の知事選直後(10年8月)は、福祉・医療は「高齢者福祉や医療」、災害・地震対策は「防災・治水」、社会基盤の整備は「公共事業の拡大」、行財政改革は「財政立て直し」の選択肢で聞いた。

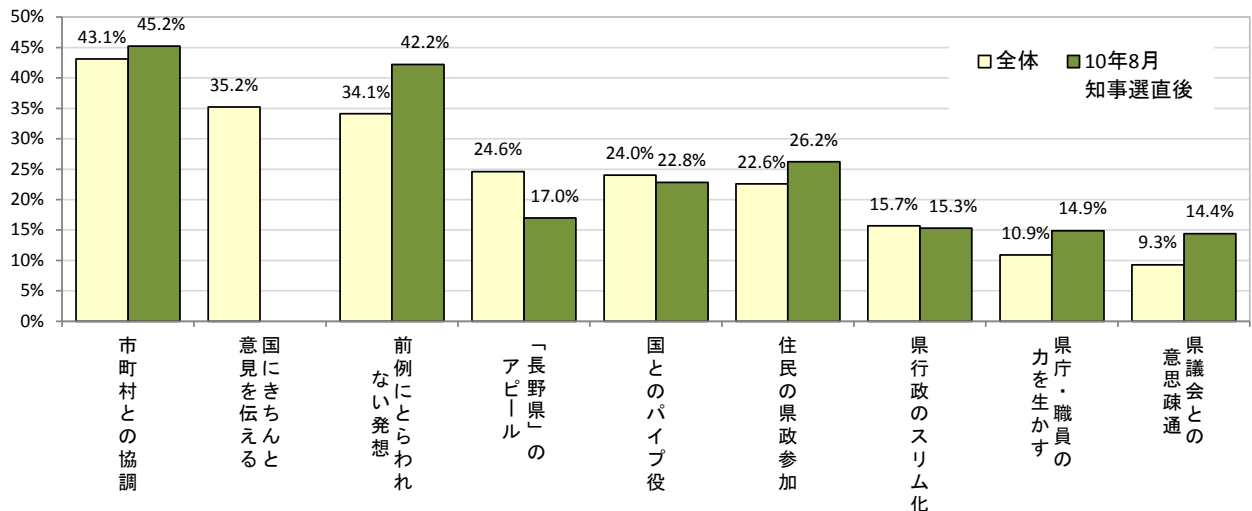
## 県政運営への要望

(問5)

### ◆「市町村との協調」次いで「国にきちんと意見を伝える」

阿部知事にどのように県政運営をしてほしいか聞いた（3つ以内選択）。「市町村との協調」が43%、次いで「国にきちんと意見を伝える」が35%、「前例にとられない発想」が34%だった。「市町村との協調」は4年前の調査でもトップで、各層とも要望している。

今回新たに入れた選択肢「国にきちんと意見を伝える」は女性、70歳以上、職業では農・林・漁業の要望が4割を超す。日本創成会議に少子高齢化で、将来消滅の可能性を指摘された農山村地域の思いを反映しているようにも見える。告示前の調査（7月）で知事としてもっと意見表明してほしい国の政策を尋ねた際は、「少子高齢化・人口減少」が6割を超え圧倒的に多かった。



## 阿部知事の公約や県政の課題

(問6)

阿部知事の公約や県政の課題を4項目に絞って聞いた。

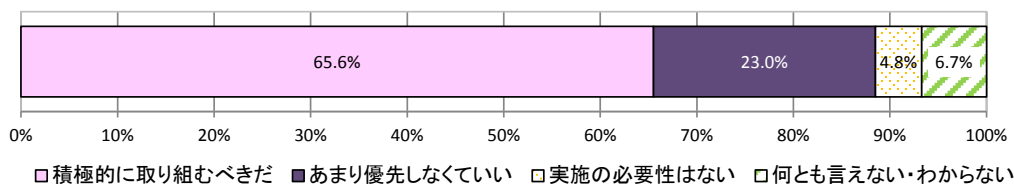
### ◆「信州型コミュニティスクール」、賛意が66%

知事は基本政策集で開かれた学校づくりとして、保護者や地域住民が学校運営に参画し、教育活動を支援する「信州型コミュニティスクール」を、平成29(2017)年度までに公立小・中学校で100%実施を目指すとしている。既にモデル校では事業が始まっている。

この「コミュニティスクール」について「積極的に取り組むべきだ」が66%と賛成派が大勢を占めた。男女、年代、地域を問わず6割以上が推している。

「あまり優先しなくていい」は23%、「実施の必要性はない」は5%。

A 保護者や地域住民が学校運営に参画し、教育活動を支援する「信州型コミュニティスクール」



## ◆新県立大学、全年代とも「構想見直し」が優位

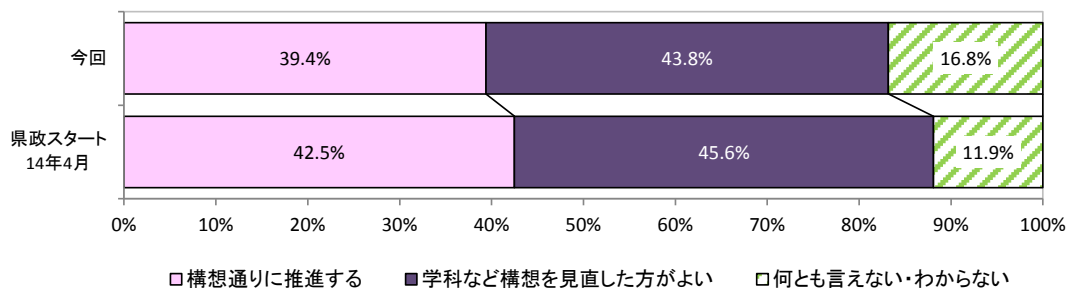
平成 30（2018）年度開学を目指す新県立 4 年制大学について、理事長・学長予定者が決まった段階でも「学科など構想を見直した方がよい」が 43.8%、「構想通りに推進する」の 39.4%を 4.4 ポイント上回る。全年代とも共通認識で「構想見直し」が優位に立つ。

地域別では北信が拮抗、東信は「構想通り」が優位、中信は「見直し」が過半数、南信は「見直し」がやや優位と割れている。

支持政党別でも、圧倒的に多い無党派層と共産党支持者が「見直し」を求めている。

4 月の「2014 年度県政スタート」の調査でも「見直した方がよい」が優位だった。県は施設整備設計に入り構想を進めているが、県民の理解が進んだとは言えないようだ。

B 2018年度に開学を目指す新県立大学

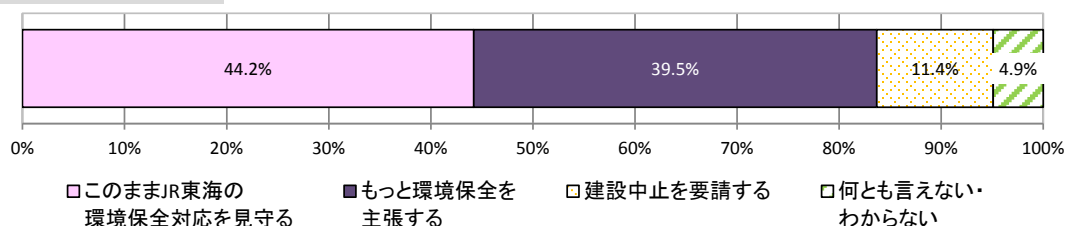


## ◆リニア、知事は「もっと環境保全主張を」4割

リニア中央新幹線着工に伴う環境保全について、知事の対応を聞いた。「このまま J R 東海の環境保全対応を見守る」44%、「もっと環境保全を主張する」40%と静観派がやや上回る。ただ女性や農・林・漁業者は「もっと環境保全主張」を求める人が静観派より多い。とりわけ農・林・漁業者は「建設中止要請」も 23%と一際高く、環境保全重視が目立つ。

J R 東海は 8 月 26 日、国に工事認可を申請した。環境影響評価（アセスメント）書には、県が要望した作業用トンネル坑口削減や、地元自治体との環境保全協定は反映されていない。

C リニア中央新幹線



## ◆審議会の女性比率 50%目標、「適材適所」が6割超

知事が男女共同参画社会の実現の一つとして、県審議会委員の女性比率 50%を目指すなど女性登用策について、「積極的に推進する」35%、「適材適所でよい」63%と、あまり目標にはこだわっていない。

これは女性も同様に「積極的に推進」34%に対し「適材適所」が 64%だ。各層で見ても「積極的に推進」が多いのは 70 歳以上（49.5%）、公明党支持者（52%）、共産党支持者（52.4%）にとどまる。

D 県の審議会委員の女性比率5割目標など女性の登用

